



7章

私たちの消費のあり方が社会を変える

教科書
PP.258▶261

本章の目標

●静岡市のごみ処理の現状や、環境に対する取組を知り、実践しよう。

ここまで、買うことについて学んできたけど、買ったものを使い終えた後のことも意識する必要があるんだ。
まずは静岡市の取組をもとに考えてみよう。



しずも



みなさんこんにちは！静岡市のごみ減量啓発キャラクター「しずも」です。
静岡の「しず」ともったいないの「も」で“しずも”だよ！
静岡市では、平成19年度から市全体のごみを減らす運動を進めているよ。

01

なぜ、静岡市ではごみを減らす運動をしているのか考えてみよう。

一人が1日に出すごみの量（令和4年度）



静岡市
902g
(884g)

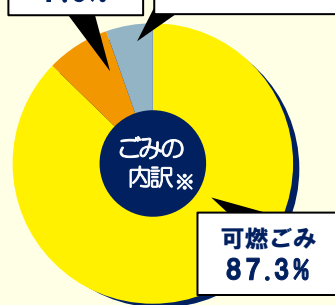
※ごみに関する統計による
()は台風15号関連ごみを
含まない数字

1か月（30日）にすると
大きいごみ袋およそ**6.3個**※



※1袋（45L）≒4,285g（福岡市調査）のごみが入るとして計算

資源ごみ **7.3%** 不燃・粗大ごみ **5.4%**



静岡市HP「ごみに関する統計」
ごみ処理量と排出量（令和4年度実績）より
※台風15号関連ごみ含む

木・竹・草類
1.1%

その他
6.7%

繊維類
3.0%

生ごみ **38.3%**

手つかず食品・・・4.1%
食べ残し・・・4.2%
その他厨芥類・・・30.0%

食品ロス

※端数処理を行っています。

家庭系可燃ごみの
組成調査
(令和4年度)

プラスチック類
22.9%

紙類
27.9%

静岡市HP「ごみに関する統計」
令和4年度 家庭系可燃ごみ（ステーションごみ）の組成調査結果より
端数処理を行っているため合計が100%にならない場合があります。



02

ごみの量や内訳をみてどんなことに気づきましたか。